

50年度予算

総額 3億4,864万2千円

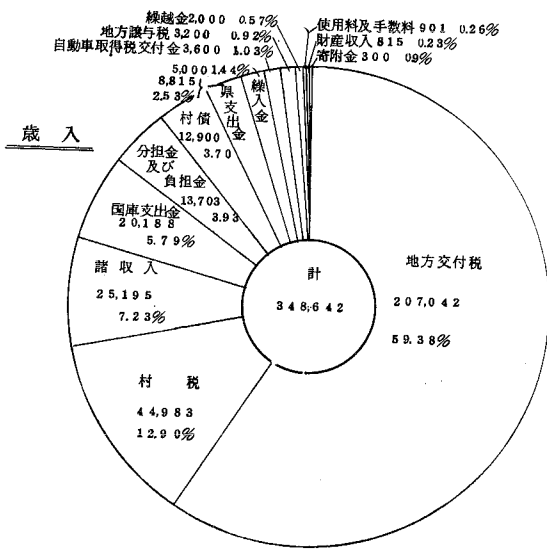
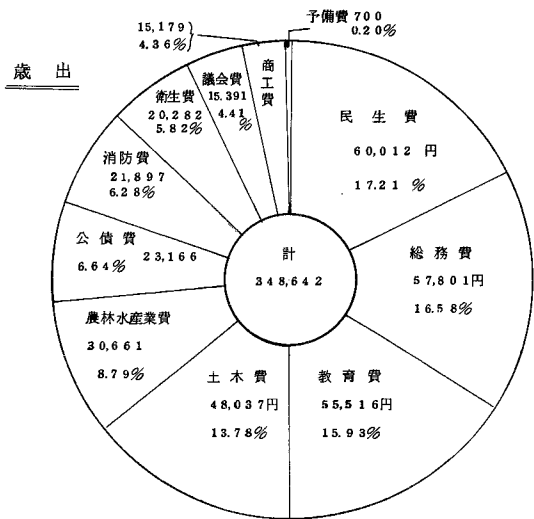
「和」の月潟村建設と村民福祉の向上

継続事業を中心の 骨格予算をきまる

若干の予算留保

昭和五十年年度予算編成は、就任して日も浅く、その施策の一端を盛り込む時間的余裕もなく、やむを得ず、経常経費（義務的経費）と継続事業費を中心とし、早急に実施しなければならぬ、僅かな

昭和五十年年度予算編成は、就任して日も浅く、その施策の一端を盛り込む時間的余裕もなく、やむを得ず、経常経費（義務的経費）と継続事業費を中心とし、早急に実施しなければならぬ、僅かな



公用地を整備

総務費

総務費は行政事務を行うための経費で、三役、職員給料等、役場事務の各種経常経費を主としておきます。

その他に文書広報費、徴税費、戸籍住民基本台帳費、選挙費、統計調査費、監査委員会費等の経費を計上しております。

教育設備の充実と 社会教育の振興

教育費

児童生徒の健全育成と教育効果を充分にあげるため設備内容の充

黒斑病対策を重点 農業費

農業費

実をとりまく諸問題は国際的にも国内的に於ても厳しさを加え食糧自給確保の問題が真刻に検討されつゝあり本村は之等の情勢を充分ふまえて五〇年度予算の編成をいたしました。

1. 農地農政問題の基本についてその計画樹立の基礎資料となる農家台帳を整備するため、農地の流動を適確に把握し適正農家へあつせんする事業を推進するに四五二千円を計上しております。

2. 農業振興は基本的方針を「地方の増強と良質米多収」を重点に置いて次の事業を計画しております。

①各種品評会共進会の開催九千円 ②地方増強対策事業一〇千円（地域別生ワラ処理促進成堆肥作り資料土壌分析処理） ③新潟米生産推進対策事業三二四千円（稲作栽培、病害虫防除、野そ除等） ④アメンロ防除対策二二〇千円（生ワラ処理の設置二二〇千円） ⑤各種展示試験、地力測定、田植省力化等） ⑥各種事業に対する補助金及び負担金一四九千円（水稲種子更新、農業近代化資金利子補給、農林生産振興資金利子補給、農林漁業資金利子補給、稲作近代化推進事業（集束機五台分）等の補助及び負担）

3. 園芸振興について昨年大発生した黒斑病対策を重点に置いて且栽培技術の向上を図るべく次の事業を計画しました。 ①赤星病発生源調査四八千円 ②各種品評会共進会の開催六一千円 ③地力増強対策事業五〇千円（施肥改善対策指針、地力診断等） ④果樹栽培、病害虫防除指導事業一三二千円（技術研修資料、集団的栽培計画資料、病害虫防除、黒斑病対策資料） ⑤野菜栽培指導事業四〇千円（研修指導資料）主として若妻を対象に指導する。 ⑥各種展示等の設置一七三千元（梨共進育苗管理、施肥改善試験は、病害虫発生現地調査は、梨生産者大会用ほ場及び整枝せん定競技会ほ場借上等） ⑦各種事業に対する補助金二七千円（花き球根組合に助成、果樹近代化事業、果樹近代化事業利子補給、苗木導入補助

道路改良を優先 土木費

土木費

本年度も引き続き道路改良整備を推進します。工事請負費は、一〇〇千円昨年度当初予算より多い一三、五〇〇千円計上。地元住民の要請協力度の高い路線及び継続事業の残路線より議事に諮り、施行し補正財源の確保により増額される見込です。県道改良については月潟橋連絡道路舗装については月潟橋連絡道路

を要請し事業費の一〇〇千円を計上しました。

道路維持管理費では、敷砂利代二三〇千円、人夫賃二四四千円、除雪及びグレイター等の借上料一〇七八千円道路台帳並びに登録委託料四五〇千円で管理に努める方針です。その他、部落事業で宅地排水工事を実施した場合には事業費の三〇％補助が予定されていますから環境衛生向上につとめて下

老人福祉に意を 民生費

民生費

民生費は前年より一〇五八万円増加しまして六〇〇一万円で、事業内容は昨年と変わっておりません。

老人福祉

老人医療助成費一〇一六万円、ねたきり老人対策事業八六万円、健康診査八万円、敬老会三六万円、老人旅行五万円、老人クラブ二六万円、金婚式を迎えられた御夫婦に記念品代二万円三組分を用意しました。老人の日も設定し、老人の生きがい対策に意を注ぎます。

児童福祉

保育園の運営費に二五四六万円計上しました。人件費が主です。

児童福祉

が、カラーTV二台購入し、これで全部の部屋にカラーTVが入ります。雨樋、サッシの戸が痛んでおりますので、修理費二五万円、又児童手当が十月より月額五千円に引上げられる予定です。一五二五人分六五〇万円計上しました。その他、月寿荘の運営費は、燃料費が高くなり、昨年より一八万円の増で三四八万円、慰霊祭一三二万円等が主たるものです。



4. 畜産振興は年々多頭羽飼育の方向に進んでいるもの、経営ベースは必ずしも安定しないので之等の現実をふまえて指導する計画であります。 ①種豚共進会の開催三三〇千円 ②優良種豚の導入二〇〇千円（四頭導入） ③家畜伝染病予防対策四〇千円（薬剤購入） ④試験委託五五五千円（フン処理等）

5. 農道整備については東長島西置場地区は本年も継続で事業が施行されるので負担金七〇一〇計上しました。

6. 地盤沈下対策事業は月潟郷土地改良区域内の事業が本年度も施行されますので自家用天然ガス燃料転換補助と併せて七、七九千円負担する見込です。

7. 農村後継者育成に当るため青少年活動を促進する計画した。 ①技術研修調査費一六千円 ②研修会開催費二〇千円 ③各種講座、研修会、交換会参加旅費四九千円 ④セミナー等開催の費用に七三千元 ⑤モデル事業のほ場を借用し、技術の修得を図る六四千元